

☆ねらい

自分が書きたいこと（伝えたいこと）を思考の中で整理をしていく Mapping の手法を、逆の手順を用いることにより、手法に慣れ、理解を深めることができる。

☆扱う場面

- ・全学年対象。
- ・単元の最後での自己表現活動で。または、テーマを決めて英文を作成する場合。
- ・論説文やスピーチ原稿等の英文の内容理解・読み取り。

☆指導の手順と留意事項

学習活動	指導の仕方・留意点等
① 教師の音読を2回聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目は、登場人物や全体的な内容を聞き取らせる。 ・2回目は、テーマ (opening)、段落構成 (body)、結論 (ending) 等を意識するようアドバイスする。
② 音読をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒントとなる言葉 (First, Second, In conclusion など) に注意しながら読ませる。
③ ワークシートを見て、大まかな内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・構成を、Mapping で実際に見て確認させる。 ・矢印や図を意識させる。
④ ワークシートの空所に埋めていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態や目的に合わせる。 ○学習形態を、個人／グループで行う。 ○空所補充を、日本語／英語で行う。
⑤ ワークシートの空所の内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・to 不定詞の用法に注意させる。
⑥ 逆マッピングにより、スピーチをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・内容を理解した上で、ワークシートを見ながら、教科書の本文やスピーチ原稿を英語で読ませる。
⑦ Mapping の作成について学習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が Mapping を作成する上で、取り入れたい部分にアンダーラインを引かせる。 ・線や矢印をうまく使えるよう、他の例も示す。 ・単語レベルでもいいので、書きたいことをできるだけ多く挙げられるようアドバイスする。
⑧ 次時の準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・次回、自分が Mapping を用いて英作文をする際のテーマを決めさせる。